

各 位

2022年11月18日  
株式会社マイネット  
(コード番号:3928)

## 2022年12月期 第3四半期決算説明会 質疑応答要約

**Q1：ゲームは新作タイトルの供給が減ってきている印象がありますが、ゲームのセカンダリ市場に対する今後の見立てを教えてください。**

A1：中長期的にはセカンダリ市場は成長すると考えています。新作タイトルの供給減に伴い、セカンダリ市場に流通するタイトルの数は少なくなっていますが、一方で、1タイトル当たりの規模は大きくなっています。大規模タイトルは、当社が得意とするコスト圧縮やデータドリブンによる売上増の余地が大きいことが特徴です。また、ライブゲームやブロックチェーンゲームといった新たな市場の勃興がセカンダリ市場拡大に好影響を及ぼすと考えています。これまでスマートフォンゲームの開発・運営を行ってきた企業がそういった新市場に移行するために、既存タイトルを売却・運営移管するという動きが出てくることが予想されます。加えて、ライブゲーム・ブロックチェーンゲームともにローンチ後も運営が続いていくタイプのゲームであり、これらにおいてもセカンダリ市場が勃興する可能性があります。

**Q2：NFTは販売がうまくいっていないという報道も出ていますが、NFT市場に対する今後の見立てを教えてください。**

A2：NFTの中でも当社が将来的に取り組んでいくスポーツNFTについては、複数の企業が参入されていますが、成功しているとは言い難い状況だと当社でも捉えています。成功を阻んでいる要因としては、スポーツへの興味関心が高い層にNFTが浸透していないことやスポーツNFTのマーケットプレイスが充実していないことが考えられます。

現在においてNFTを嗜好するのは、暗号資産を保有していたり、グローバルにWeb3の動向を追っているような方が大半です。そういった層に対して、スポーツというコンテンツを純粹に楽しんでいる方がその延長線上で楽しむためのスポーツNFTは親和性が高くありません。また、スポーツNFTを買っても、売るためのマーケットプレイスが存在していないような状況も続いていました。コンテンツとして魅力あるスポーツNFTであっても、マーケットプレイスがなければ価値がつかないため、スポーツNFTを保有するインセンティブは働きません。

当社では、ファンタジースポーツを通して、スポーツIPと親和性の高いコミュニティを先に形成しておき、一般層にも暗号資産やNFTの保管管理を行うためのウォレットを持つことが浸透するタイミングを見計らいながら、NFTを実装したいと考えています。

なお、2022年12月期第3四半期 決算説明会動画も公開していますので、以下のURLよりご覧ください。

<https://youtu.be/glwGXyxcPCI>

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

**【本件に関する問い合わせ先】**

株式会社マイネット IR担当 香田 遼也

E-mail : [ir@mynet.co.jp](mailto:ir@mynet.co.jp)

以上